

令和8（2026）年度 第1回かしわざきこども大学運営協議会 議事録

- * 日 時 令和8（2026）年6月25日（木） 午後6時30分～8時00分
- * 会 場 柏崎市役所 1階 多目的室
- * 出席委員 7名：岸勝巳委員、蓮池純夫委員、三井田正志委員、岡村美奈子委員、川本浩子委員、土田由紀委員、滝澤里佳委員
- * 欠席委員 片桐秀樹委員
- * 事務局 5名：田中光司教育部長【学校教育課】山之内知行課長、牧口歩係長、伊藤貴史副主幹、横田則子主査

1 開会 進行：牧口係長

2 挨拶 岸会長

明日、サッカーワールドカップの日本戦が行われるのが楽しみである。柏崎では、6月のえんま市も楽しいイベントの一つである。ワクワクする、待ち遠しいというものが、かしわざきこども大学でも実りになっていると良いと思う。その事業の検証等をするのが、かしわざきこども大学運営協議会の役割である。委員の皆さんに、昨年度実施された内容について、また、今年度実施が計画されているものについて意見を出していただきたい。

柏崎市の公式ホームページでは、かしわざきこども大学が目指すものが5つ書かれている。

一つ目が子どもたちの生きる力を育む、二つ目が豊かな感性を育む、三つ目が、自ら気づき、分かる子どもを育てる、四つ目が、思いやりのある子どもを育てる、五つ目が親と子が共に育つ場を提供するとしている。この5つのことを目指して事業展開しており、この事業には基金を活用している。

今日の会議では、皆さんには、色々なご意見を出してもらえようをお願いしたい。

3 委員・事務局自己紹介

(1) 新任委員の紹介

川本浩子委員、滝澤里佳委員が令和8（2026）年4月1日付けで新たに委嘱された。

(2) 自己紹介

名簿の順に自己紹介を行った。

(3) 副会長選出

かしわざきこども大学運営協議会設置条例第5条に基づき、副会長の立候補者を募るが、立候補なし。事務局から、副会長を川本委員とする案を提示。

一同異議なし。

4 議事 進行：岸会長

(1) 令和7（2025）年度 決算について 【事務局】

ア コース全体について 資料1

令和7（2025）年度かしわざきこども大学決算書に基づき説明した。

イ こどもの笑顔創造プロジェクト補助金 資料2

令和7（2025）年度は、計7団体が事業を実施した。実施報告に基づいて補助金額

の確定を行い、計 1, 237, 000 円の補助金を交付した。

ウ 令和 7（2025）年度かしわざき子ども育成基金 寄附金等受入状況 資料 3

計 645, 968 円の寄附・運用利子収入があり、令和 7（2025）年度かしわざきこども大学事業実施分を取り崩し、令和 8（2026）年 3 月 31 日現在の基金残高は、24, 907, 600 円である。

この他、令和 7（2025）年度の事業内容についてまとめ、9 月を目途に実施報告書を作成する予定。

質疑・応答なし。

(2) 令和 8（2026）年度 実施予定事業、予算について

ア 各コースの概要、予算について 【事務局】 資料 4

令和 7（2025）年度から約 310 万円減の 4, 030, 261 円の予算編成である。減額の理由は、主にこどもの笑顔創造プロジェクト補助金の廃止と学校教育活動推進事業交付金の減である。

イ 各コースの実施計画等について

(ア) 自然体験コース 【事務局】 資料 5

今年度は、柏崎市内の幼稚園・保育園等 28 園と県立はまなす特別支援学校が参加。4 月 17 日から順次、柏崎・夢の森公園及び県立こども自然王国での体験プログラムを実施している。

(イ) 国際交流コース 【事務局】 当日配付資料 7

英語検定の面接対策講座とクリスマスのつどいを計画している。

英語検定の 1 次試験に合格した小中学生を対象に、2 次試験の面接試験対策講座を実施する。ALT が面接官となり模擬試験を行い、アドバイス等を行う。英検の実施に合わせて、年 3 回計画している。第 1 回目 7 月 10 日、第 2 回目 11 月 14 日、第 3 回目を来年 3 月 6 日に計画している。

クリスマスのつどいは例年開催し、今年度で 3 回目である。

市内の小学生から高校生を対象に、12 月 19 日（土）の午前中に計画。

柏崎・刈羽で勤務している ALT とのふれあいを通して、様々な国の文化に触れる体験を考えている。

(ウ) エネルギーのまち、柏崎探求コース

次世代エネルギーの「水素」をテーマとし、(株) INPEX に協力いただき、今年の夏頃から本格稼働となる平井の柏崎水素パークのプラント構内の見学やクイズを企画している。日時は 10 月 3 日（土）の午前中とし、親子 15 組を募集予定である。

(エ) ものづくりのまち柏崎・歴史探求コース

柏崎市の歴史や文化財、産業を学ぶ場などを提供し、子どもたちの柏崎に対する郷土愛を育むコースとしている。

今年度は、シモダ産業（株）に協力いただき、企業見学を行う。実施時期は 11

月中旬を予定し、9時から12時までの半日で実施する予定で調整中である。

また、バス移動の道中で、ものづくりのあゆみツアーを計画している。

各コースのイベントについては、柏崎市公式ホームページ、広報かしわざきへの掲載、チラシの配布で周知し、参加者の募集を行う予定である。

(オ) 学校教育活動推進事業 【事務局】 当日配付資料8

子どもたちに確かな学力、豊かな心、健やかな身体を育むことを目的に、家庭、地域と小中学校が協働で特色ある教育活動の充実を図るため取り組んでいる。小学校には1校あたり13万5,000円、プラス各学級数×7,500円。中学校には、1校につき12万5,000円、プラス各学級数×7,500円の予算を示している。その中で各学校が特色ある活動の事業計画と予算を提出していただき、市が内容を精査し、決定している。

令和2(2020)年度まで、教育総務課による補助で行っていた食育に関する事業を学校教育活動推進事業に統合したため、令和3(2021)年度から食育に関する内容も必ず入れるようにしている。資料の事業計画書で取組みの内容を確認してもらいたい。

－質疑・応答－

【委員】 国際交流コースの英検対策講座について、中学生までが対象となっているが、中学生までだと英検3級が主流で、英検準2級、2級は少ない。

各学校での取り組みも英検、数検はなくなる方向になっているという話を聞く。計画では、1次検定を合格した人という限定条件になっているが、可能であれば、3級以上の受検希望があり、まだ1次試験を受けていなくても誰でも参加できることにしてもらいたい。企画としては、とても良い取り組みだと思う。

【事務局】 今年度は、2次試験対策に焦点を当てて実施を計画しているので、1次試験を合格した人を対象に事業をスタートしている。今年度の実施状況にもよるが、今後対象者の範囲をどうするか検討したい。

【委員】 英検の他に、TOEICの試験もある。そういった高レベルな英語学習に触れる機会を設けられればありがたいと思う。

【委員】 今年度のこども大学全体の予算は、前年度よりも300万円ほど減少しているという説明があった。学校教育活動推進事業の減額の経緯はどういったものか。また、国際交流コースのクリスマスのつどいについて、対象が小学校3年生から高校3年生と幅広いが、どのような形でやるのか。グループを分けてやるのか、それとも色々な学年の子が一緒になってやるのか。

【事務局】 学校教育活動推進事業の交付金自体が、学校数、学級数の減少によって、減少してきている。そのため、子ども育成基金からの充当も200万円へ減額した。2点目について、かしわざきこども大学の事業が小中学生を対象にしたものが大半だったため、国際交流コースでは、高校生までを対象としている。実際には、高校生の参加はほとんどない。周知方法も含めて検討していきたい。学年によって英語の習熟度も違うので、参加者の状況に合わせた内容の工夫をしていきたい。

- 【事務局】 学校教育活動推進事業については、学校統合によって学校数が減少していることも関係がある。
- 国際交流コースのクリスマスのつどいについては、運営協議会の中で、ゆくゆくは、高校生が小学生を教える場面があっても良いといった意見があり、高校生までを対象にしている。
- 【委員】 国際交流コースの英語検定対策講座は堅いイメージがある。ほかのコースに比べてワクワク感が感じられない。チラシを見ると内容については分かるが、事業名をもう少し工夫してみてはどうか。
- 【委員】 各コースについて、かしわざきこども大学の新しい取り組みが見られて良いと思う。
- 決算の説明の中で、庁用車の利用により、民間事業者からのバスの借上げをしなかったという説明があったが、庁用車のバスの運転はどのような人がしているのか。
- 【事務局】 柏崎市の庁用車は、財政管理課で交通事業者に委託している。運転手についても資格を持った運転手が交通事業者から派遣されていて、庁用車のマイクロバスを運行している。
- 【委員】 子ども育成基金の残高の減少により、このまま続けると5年ほどでなくなってしまうとされている。自然体験コースのバスの借上げについて、例えばバス代の半分の補助として長く事業を継続するか、これまでどおり全額バス代を出してもらって5年間で終了とするか各園にアンケートを取ってはどうか。せっかく良い事業をやっているので、細く長く続けるためには、どこかで負担の軽減も考えていかなければならないと思う。
- 【委員】 自然体験コースでは、園バスがあるところは園バスを使ってもらい、こども大学でのバスの手配を希望する園のためにバスを借り上げている。今年度は、公立園の送迎には、庁用車のバスも利用している。
- 今後については、保育課と今日の議論を共有し検討していきたい。
- 【委員】 国際交流コースにおいて、ALTに対しての謝礼は必要ないのか。
- 【事務局】 柏崎市の職員として勤務しているALTが、通常の勤務の一つとして協力している。

(3) かしわざきこども大学の開催時期について 【事務局】 当日資料9

年3回、6月、10月、3月に開催している運営協議会について、第1回目が6月だと事業計画について諮る前に、事業を実施しているコースも出てきてしまうことから開催時期を前倒ししたい。

第1回を4月、第2回を9月、第3回を2月としてはどうか。

また、他の附属機関の会議は日中行われていることも多いことから開催時間についても今後日中に変更することを検討していきたい。

－討議－

【委員】 午前中よりは、午後以降であれば良い。1か月以上前に日程を通知いただきたい。

【委員】昼間でも可能だが、18時半ではなくもう少し早い時間でも良い。

【委員】ウェブ会議での開催も考えても良いと思う。

【委員】個人で通信環境を整えるとなると少し不安がある。

ー結論ー

開催時期の変更については、提案のとおり。開催通知は、1か月前には通知すること。

(4) かしわざき子ども育成基金の寄附収入確保に向けての意見交換 【事務局】

かしわざきこども大学の事業は、柏崎市からの積立金と市民の皆さんからの寄附金を積み立てたかしわざき子ども育成基金を財源として事業の運営を行っている。

令和7(2025)年度末の基金の残高は、24,907,600円である。

現在、年間65万円ほどの寄附収入と運用利子収入があるが、かしわざきこども大学の事業費を取り崩しているため、毎年約4,000,000円ずつ基金の残高が減少すると、残り6年ほどで尽きてしまう計算になる。

寄附金の受付は、柏崎市公式ホームページでの周知やチラシを作成しPRしているが、新規の寄附者獲得のため意見をいただきたい。

【委員】 寄附が集まらないのであれば、ふるさと納税を充当して有意義な事業を展開していく方法はどうか。ふるさと納税は、この2～3年で納税者が一気に増えている。ふるさと納税は、幅広い分野で使われているようだが、使い道はどのように決めているのか。

【事務局】 ふるさと納税は、「子どもたちのために使ってほしい」「市長におまかせ」など色々な枠で受け入れをしていて、様々な事業に使われている。子どものための事業は、子育て応援券などがある。
ふるさと納税が活用できるかどうかは、確認したい。

【委員】 長く製造業に携わっていたが、ものづくりの企業側も子どもたちのために何か出来ないか考えていると思う。一つの会社に投げかけても難しいので、業界の組合に話をするのも一つの方法ではないか。
「ものづくりの柏崎」とうたっているので、賛同してくれる企業もあるのではないか。

【事務局】 寄附募集をホームページで周知していてもそれだけでは、寄附は集まらない。
効果的な方法は何かというのは難しいが、ご意見のように色々な組合に投げかけるのも一つの方法だと感じた。ご意見に感謝したい。

【委員】 所属している私立保育園協会でも課題があり、少子化と園の減少で財源について議論になった。企業に出向いて、賛同していただける方に一口1万円から賛助会員になってもらっている。ホームページに出しているだけでは弱いので、出向いて話をすることも大事だと感じる。企業の方々に、子どもたちのために何かしたいと考えている方もいる。

【委員】 最近企業のCMも増えている。社会貢献している企業としてアピール出来れば、企業側のメリットにも繋がるのではないか。

【委員】 地域の清掃活動なども、企業が社会貢献として参加している様子が見られている。

【委員】 この事業は、寄付をしてくれた人がいるから成り立っているということをP

Rしていくことが大事ではないか。

毎年寄附いただいている東芝エネルギーシステムズ(株)、東芝プラントシステム(株)の社員の方々にも、自動販売機の売り上げの一部が事業に繋がっていることをもっと認識してもらっても良いのではないか。

ふるさと納税は、こういった事業に使われているのか公表されているので、納税に繋がっているようだ。そういうシステムが出来ると良いと思う。

【委員】 寄附を募るにしても、かしわざきこども大学の事業をよく知ってもらう必要があると思うが、ホームページの内容が面白くない。
チラシでかしわざきこども大学のイベントは見るし、実際に参加した人は内容を分かるかもしれないが、他の人に紹介するときに「ホームページを見てみて」と言っても文字ばかりで何も伝わってこない。
実施した内容の動画などがあれば、理解してもらえるのではないか。ホームページをもう少し華やかにして、「かしわざきこども大学はこういうことをやっています。」と胸を張って言えるようなものにしてもらいたい。

【委員】 YouTube も伝えるツールとして使えるので、良いかと思う。

【委員】 社会福祉協議会のこども食堂でも、企業からボランティアに参加したいといった声があり、繋がりを持っている。

ものづくりのまち柏崎・歴史探求コースのものづくりのあゆみバスツアーで、講師を含めて調整中としているが、バスツアーで企業の宣伝も出来るようにすれば繋がりをもてるのではないかと考える。

【委員】 若い経営者の中には、野心を持っている経営者もいるので、そこにアプローチするのも方法かと思う。

5 報告

(1) 令和8(2026)年度 3DCAD 体験教室について 【事務局】 資料6

6月6日(土)の午前中に新潟工科大学に事業委託し、開催した。

当初、新潟工科大学で同日に実施される魚沼市と共同で開催することも想定されたが、対象年齢の違いや実施内容の違いから柏崎市単独の開催となった。

3DCAD 体験教室には、小学校3～6年生の親子計16組が参加した。

6 連絡事項 【事務局】

(1) 今後のスケジュールについて

ア 第2回運営協議会…9月を予定(令和8(2026)年度実施事業の報告、令和9(2027)年度実施予定事業・予算の検討)

イ 第3回運営協議会…2月上旬を予定(令和8(2026)年度実施事業の報告)

(2) その他

本日の報酬と費用弁償については、7月21日(火)に支払い予定。

5 閉会 田中教育部長

本日の会議では、様々な御意見をいただき感謝申し上げます。

昨年度の運営協議会では基金の残高の状況から、今後のかしわざきこども大学の事業の方向性について議論いただいた。今年度から、事業の見直しをしていて、大変悩ましいところもあ

る。今日は、寄附金収入の確保に向けて議論いただいた。大変難儀なところもあるが、私たちが考えていない意見もたくさんいただいた。大変ありがたく感じている。

エネルギーのまち、柏崎探求コースも実施予定だが、議会の一般質問では、脱炭素の未来を担う人材育成について質疑があった。

様々なコースで事業展開しているが、これは何のためにやるのかというのは、考えていかなければならない。柏崎の子どもたちが健やかに成長することと、柏崎のまちに興味をもってもらい、関心をもってもらうことに期待をしている。

今年度も1年間、気づいたことがあれば、御意見をいただきたい。